

報告第14号

令和3年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業及び決算の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、令和3年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業及び決算を別紙のとおり報告する。

令和4年8月30日

西脇市長 片山 象三

令和3年度事業報告書及び決算報告書

公益財団法人北播磨地場産業開発機構

令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

我が国の経済活動の回復は、令和3年9月末まで緊急事態宣言等が断続的に発令されてきたことなどから緩やかなものにとどまった。10月以降緊急事態宣言が解除される中、国内経済活動の再開に伴い個人消費が上向き、景気は持ち直していくと思われたが、オミクロン株を含めた新型コロナウイルス感染症拡大による影響等により、物流の混乱や品不足が発生し物価が上昇した。さらに、ロシアによるウクライナ侵攻及び円安の影響により一連の物価上昇に拍車がかかる可能性もあり、経済の見通しは不透明な状況となった。

そのような中、北播磨地域の地場産業である「播州織」については、繰り返し発令されたまん延防止等重点措置の影響で衣料品への消費マインドが低下したことにより、生地需要が大きく減少した。また、コロナ禍によるライフスタイルの変化に伴うビジネスシャツ等の販売が落ち込んだことから、生産数量は対前年比96.5%と微減となったものの、令和元年比では58.5%となり、コロナ以前の水準には程遠い状況となっている。

「播州釣針」については、昨年引き続きコロナ禍での三密を回避できる娯楽と認知され、釣りを楽しむ人が増加したことで売上は好調を維持している。

地域経済の活性化には地場産業の振興が重要であり、当財団では、兵庫県及び地域行政の支援を受け関係業界と連携し、地場産業の振興のための効果的な事業を展開するとともに、地場産品のPR、ブランドの発信や販路拡大等の活性化事業に取り組んできたが、新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、一部の事業においては中止した。

令和3年度の事業実施状況を次のとおり報告する。

記

〔公益目的事業〕

(公1) 北播磨地域の地場産業の普及振興事業及び人材育成事業

1 新製品・新技術及びデザインの研究開発事業 (定款第4条第1号)

(1) 播州織ブランド新商品試作開発事業 (播州織)

「播州織」ブランドの発信と最新の先染織物播州織を市場に提案するため、播州織業界各団体から推薦を受けた委員で構成する新商品試作開発委員会を組織し、「サステイナブル」「インパク

ト」をテーマとして染・織・加工の技術を駆使した先染生地を試作開発した。

試作開発した生地は14点で、令和3年12月7日及び8日に東京都千代田区の東京国際フォーラムで開催した「播州織総合素材展2022」の試作コーナーで展示を行った。また、試作した生地にQRコードを付けて、各社のホームページ、インスタグラムへアクセスができるようにし、会社名及び生地の概要を含め播州織のPRに努めた。

（県の地場産業ブランド力強化促進事業の助成を受けて実施）

2 地場産業製品の普及事業（定款第4条第2号）

(1) 播州織総合素材展事業（播州織）

昨年度に引き続き、令和3年度は東京で開催された国内最大の繊維総合見本市「JFW JAPAN CREATION2022」に「播州織総合素材展2022」として出展した。当該見本市では、播州織産地と取引がない新規顧客を獲得するため、高度な技術を駆使した先染織物の新製品の提案と播州織の魅力を発信することにより、需要喚起と産地の活性化を図った。

事業を進めるに当たり、産地業界（産元、染色、織布、加工）、兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター及び地域行政で実行委員会を組織した。

実行委員会を4回、出展者打合せ会を3回開催し、実施要領、小間レイアウト、展示方法、案内先等について、事業の企画調整と準備を行った。

出展者数は14社及び1団体で、小間内では織布事業者2社と加工事業者2社がそれぞれ個別展示を行い、産元協同組合所属の10社が「サステイナブル・機能・一押し商品」の3つのテーマごとに合同で1社15点、総数150点の生地を展示した。

また、産地の風景及びサステイナブルな取組をパネルで紹介し、ブース内に展示した染色糸を来場者が自由に持ち帰ることができる工夫をするなど先染織物の特徴もアピールした。

展示会名	播州織総合素材展2022
開催日	令和3年12月7日（火）・8日（水）
場所	東京国際フォーラム地下2階 ホールE
出展者数	14社、1団体
来場者数	約630人（播州織ブース）

（県の地場産業活性化支援事業の助成を受けて実施）

(2) 播州織ブランド普及振興事業（播州織）

先染織物「播州織」のブランド及び品質の良さをPRするため、播州織ブランド普及振興事業実行委員会（県、地域行政、西脇商工会議所、播州織業界団体で構成）を組織して、事業推進に当たった。

ア 播州織コレクション事業

「播州織」ブランドと播州織の良さをPRするための事業を実施した。

(ア) 新商品・新技術開発事業

デザイナーと産地企業が連携し、播州織を使用した製品を開発した。今年度は、ブランド「superNova.（スーパーノヴァ.）」のデザイナーと播州織産元協同組合12社及び播州織整理加工協会1社とのコラボレーションにより、レディース2点、ユニセックス11点の合計13点を試作開発した。

(イ) 販路開拓事業

昨年度に引き続き、コロナ禍での開催のため、オンデマンドによるコレクションの配信を行った。

名 称 播州織コレクション2022

配 信 日 令和4年2月18日（金）から配信開始

配信場所 北播磨地場産業開発機構ホームページ等

（県の地場産業ブランド力強化促進事業の助成を受けて実施）

イ ブランド発信PR事業

(ア) 北播磨地場産業開発機構ホームページにおいて、「播州織」ブランドの普及のため、ファッションショー等のイベント内容や播州織生産数量データ等の更新を行い、「播州織」ブランドを発信し、PRした。

(イ) 地域情報誌「まるはり」及び「&smile」において、播州織コレクション2022及び北播磨地場産業開発機構ホームページの新しいコンテンツ「播州織shop」を紹介し、一般消費者に播州織をPRした。

（県の地場産業活性化支援事業の助成を受けて実施）

ウ ひょうごじばさんフェア出展事業（播州織）

地場産業・播州織の振興と活性化を図るため、「国際フロンティア産業メッセ2021」内に設けられた「ひょうごじばさんフェア2021」に出展し、生地、製品等を展示して播州織のPRを行った。

名 称 ひょうごじばさんフェア2021
開 催 日 令和3年9月2日(木)・3日(金)
場 所 神戸市中央区 神戸国際展示場2号館
参加者数 7,100人

エ 播州織PR動画作成事業(播州織)

播州織の認知度向上を図り、販路開拓・拡大を目指すため、播州織産地の風景や生産現場を背景に、ものづくりに励む職人にスポットをあてたPR動画を作成した。配信動画には英語のテロップを記載して播州織の魅力を国内外に発信した。

配 信 日 令和4年2月18日(金)から配信開始

配信場所 北播磨地場産業開発機構ホームページ等

(県の地場産業ブランド力強化促進事業の助成を受けて実施)

オ Webサイトの整備による播州織ブランド普及事業(播州織)

新型コロナウイルス感染症の影響でダメージを受けた播州織産地の可及的速やかな再起を図るため、Webサイトを整備して最新の充実した情報を掲載し、バイヤー、一般消費者等に広く播州織及び播州織産地の魅力を発信した。

Webサイトでは、播州織産地の魅力である自然豊かな風景や特色である染色糸、生産現場の織機、表現豊かな生地等をトップページに掲載し、新たに「播州織shop」のページを設け最終製品の紹介を行うとともに、多言語にも対応することで充実したWebサイトを制作した。

(県の地場産業持続・活性化支援事業の助成を受けて実施)

(3) 播州織相談員事業(播州織)

播州織に関する相談員を設置し、西脇市内の播州織関連企業等の競争力強化及び播州織の振興を図った。

ア 播州織の競争力強化に関すること。

イ 播州織ファッションショーに関すること。

ウ 播州織のPRに関すること。

エ 播州織の振興に関すること。

相談回数 合計65回

(4) 播州釣針地場産業展出展事業(釣針)

播州釣針及び地域ブランド「播州毛鉤」の普及・PRのため、各種展示会に積極的に出展し、市場関係者及び消費者の関心を高め需要拡大の機会の創出を図る計画であったが、新型コロナウイルス

ルス感染症拡大の影響を受け、中止になった事業があった。

ア にしわき産業フェスタ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

イ 2022全国くらしの工芸展・愛知

開催日 令和3年11月27日（土）～29日（月）

場所 愛知県常滑市 愛知県国際展示場

参加者数 約18,000人

内容 播州釣針及び釣針製品の展示、播州毛鉤の実演及びパンフレットの配布を行った。

ウ 釣りフェスティバル2022

開催日 令和4年1月21日（金）～23日（日）

内容 播州毛鉤のオンライン展示（オンデマンドによる配信）を行った。

(5) 播州釣針普及事業（釣針）

播州釣針をPRし、消費者ニーズを把握するとともに、釣り人口を拡大して播州釣針の販売促進を図るため、釣り大会等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止せざるを得ない状況となった。資源保護のための稚魚の放流事業は実施した。

ア 稚魚の放流事業

開催日 令和3年6月9日（水）

場所 武庫川河口周辺、神戸市立平磯海づり公園周辺、播磨町新島護岸

参加者数 57人

イ 鮎の毛鉤釣り大会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

ウ ファミリー海釣り教室

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

エ 東京インターナショナルギフトショー春2022

開催日 令和4年2月8日（火）～10日（木）

場所 東京都江東区 東京ビッグサイト

参加者数 144,923人
内 容 播州毛鉤の展示及びパンフレットの配布を行った。

3 地場産業の経営者、技術者等の研修事業（定款第4条第4号）

(1) 人材育成事業（播州織）

播州織ブランドの産地生産体制の維持には産地の内部基盤を強化する必要があることから、事業承継や技術承継のためのセミナー等を実施した。特に、新しい生活様式の導入により、オンラインを活用して最終製品や生地を提案する企業が増えてきたことから、ブランドのPR力、製品の企画力、製造技術の習得等のセミナーを開催した。

ア スマホで播州織（テキスタイル・製品等）を撮る講座
内 容 基礎編（写真の構図や光などに関する講座）を実施

開催日時 令和3年7月28日（水） 13：30～

講師 森 祥子氏（ライツフォト）

場 所 兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター

参加者数 21人

イ スマホで播州織（テキスタイル・製品等）を撮る講座
内 容 実践編（実際にテキスタイル、製品を撮影）を実施

開催日時 令和3年7月29日（木） 10：00～・13：30～

講師 森 祥子氏（ライツフォト）

場 所 兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター

参加者数 23人

ウ テキスタイル・製品づくりへの企画力・デザイン力の習得セミナー

テ ー マ サステイナブル&クリエイティブ
～魅力的なサステイナブル・ファブリックを創造する～

開催日時 令和3年11月24日（水） 13：30～

講師 池西 美知子氏（クリエイティブディレクター）

場 所 兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター

ンター

参加者数 26人

エ 見学及び意見交換会

内 容 有限会社玉木新雌の工房でオンリーワンなもの
づくりの仕組みの見学及び意見交換を実施

開催日時 令和4年2月2日(水) 13:30~

講師 玉木 新雌氏

場 所 tamaki niime Shop & Lab

参加者数 18人

(県の地場産業ブランド力強化促進事業の助成を受けて実施)

[収益等事業]

その他の事業

(他1) 地場産業振興のための情報の収集提供に関する事業(定款第4条第3号)

1 播州織情報収集事業(播州織)

播州織の生産状況や出荷状況などの情報を迅速に把握し、生産の効率化を図るため、提携している一般財団法人メンケン品質検査協会や業界団体等の各関係機関でまとめたデータ等を定期的に収集し、行政機関や関係先等の産地内外に提供した。

(他2) 地場産業振興のための調査事業(定款第4条第5号)

1 戦略推進事業(播州織)

(1) 播州織ビジョン委員会(播州織を守る会)

数年間にわたり運営会議や各種ワーキンググループで検討され、播州織ビジョン委員会として報告された「播州織への提言」の内容、①ブランド管理、②播州織ブランドの外部発信力強化、③播州織ブランド内部基盤強化等について、実施状況を見守る。

(2) 産地間交流事業

地場産業「播州織」振興のための情報収集を目的に、他産地との「産地間交流事業」を実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

(他3) 地場産業製品の普及に関する事業(定款第4条第2号)

1 縫製品PR事業(播州織)

播州織縫製品の展示を行い、消費者へのPRをし、需要拡大の機会を創出する計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影

響を受けてイベントが中止になったために出展ができなかった。

(1) P R 事業

ア にしわき産業フェスタ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

令和3年度収支決算書

貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	99,233	44,066	55,167
普通預金	5,535,518	10,251,487	△ 4,715,969
定期預金	25,000,000	20,000,000	5,000,000
未収金	993,295	711,589	281,706
流動資産合計	31,628,046	31,007,142	620,904
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	205,000,000	205,000,000	0
基本財産合計	205,000,000	205,000,000	0
(2) 出資金			
出資金	1,200	1,200	0
出資金合計	1,200	1,200	0
固定資産合計	205,001,200	205,001,200	0
資産合計	236,629,246	236,008,342	620,904
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	1,038,643	1,036,119	2,524
流動負債合計	1,038,643	1,036,119	2,524
負債合計	1,038,643	1,036,119	2,524
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	235,590,603	234,972,223	618,380
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	235,590,603	234,972,223	618,380
負債及び正味財産合計	236,629,246	236,008,342	620,904

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,626,469	2,845,025	781,444
基本財産利息収入	3,626,469	2,845,025	781,444
受取補助金等	20,458,931	22,396,980	△ 1,938,049
ブランド力強化促進事業補助金	4,925,931	4,586,824	339,107
産地クリエイター養成事業補助金	0	1,000,000	△ 1,000,000
産業界提案型復活応援支援事業補助金	0	3,670,156	△ 3,670,156
地場産業活性化支援事業補助金	1,113,000	400,000	713,000
兵庫県中小企業事業再開支援補助金	0	200,000	△ 200,000
持続化給付金	0	2,000,000	△ 2,000,000
地場産業持続・活性化支援事業補助金	3,900,000	0	3,900,000
団体補助金	140,000	160,000	△ 20,000
地方公共団体補助金	10,380,000	10,380,000	0
受取負担金	5,030,000	5,130,000	△ 100,000
分担金収入	5,030,000	5,130,000	△ 100,000
受取寄付金	0	0	0
寄付金収入	0	0	0
雑収益	636,213	144,424	491,789
受取利息	30,213	37,759	△ 7,546
雑収入	606,000	106,665	499,335
経常収益計	29,751,613	30,516,429	△ 764,816
(2) 経常費用			
事業費	19,147,630	15,855,215	3,292,415
報償費	1,000,000	1,000,000	0
旅費	456,860	44,580	412,280
会議費	8,800	8,529	271
通信運搬費	81,230	80,232	998
消耗品費	115,444	97,136	18,308
賃借料	57,000	0	57,000
広告宣伝費	0	170,500	△ 170,500
外注加工費	66,000	26,400	39,600
役務費	264,000	264,000	0
原材料費	253,000	220,000	33,000
支払手数料	2,310	2,420	△ 110
繰入金支出	16,842,986	13,941,418	2,901,568

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	9,985,603	10,634,182	△ 648,579
給料手当	6,092,000	5,598,000	494,000
福利厚生費	1,166,062	1,298,370	△ 132,308
通勤費	138,000	138,000	0
会議費	3,706	5,029	△ 1,323
旅費交通費	79,020	31,100	47,920
通信運搬費	85,244	89,306	△ 4,062
消耗品費	200,514	510,739	△ 310,225
印刷製本費	35,750	30,800	4,950
賃借料	1,277,702	1,273,952	3,750
共益費	307,385	299,103	8,282
諸謝金	294,470	338,360	△ 43,890
負担金支出	161,000	161,000	0
雑費	144,750	100,170	44,580
支払退職金	0	760,253	△ 760,253
経常費用計	29,133,233	26,489,397	2,643,836
当期経常増減額	618,380	4,027,032	△ 3,408,652
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	618,380	4,027,032	△ 3,408,652
一般正味財産期首残高	234,972,223	230,945,191	4,027,032
一般正味財産期末残高	235,590,603	234,972,223	618,380
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	235,590,603	234,972,223	618,380

財 産 目 録

(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金	99,233	
	普通預金	三井住友銀行西脇支店	運転資金	5,405,784	
	普通預金	商工中金神戸支店	運転資金	48,373	
	普通預金	大和ネクスト銀行	運転資金	41,759	
	普通預金	みのり農業協同組合	運転資金	39,602	
	定期預金	みのり農業協同組合	運転資金	25,000,000	
	未収金	基本財産運用益	運転資金	993,295	
流動資産合計				31,628,046	
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	債券	運用益を財団運営に使用	205,000,000
	その他固定資産	出資金	県火災共済(協)	什器備品の火災保険加入	1,200
固定資産合計				205,001,200	
資産合計				236,629,246	
(流動負債)	預り金			1,038,643	
流動負債合計				1,038,643	
負債合計				1,038,643	
正味財産				235,590,603	

令和3年度事業別決算額説明

(単位：円)

区 分	事業名	科 目	予算額	決算額	備 考	
(公1) 北播磨地域の地場産業の普及振興事業及び人材育成事業	新製品・新技術及びデザインの研究開発事業	播州織ブランド新商品試作開発事業	繰入金支出	2,016,000	2,013,406	特別会計へ
			合 計	2,016,000	2,013,406	
	地場産業製品の普及事業	播州織総合素材展事業	会 議 費	4,000	0	
			繰入金支出	5,151,000	5,145,673	特別会計へ
			合 計	5,155,000	5,145,673	
		播州織ブランド普及振興事業	旅 費	32,000	31,380	委員旅費
			会 議 費	4,000	3,300	委員会賄費
			通信運搬費	3,000	2,890	郵送料
			消耗品費	1,000	680	事務用品費
			賃借料	1,000	1,000	ワーキングスペース使用料
			繰入金支出	9,322,000	9,316,638	特別会計へ
		合 計	9,363,000	9,355,888		
	播州織相談員事業	報 償 費	1,000,000	1,000,000	相談員報償費	
		合 計	1,000,000	1,000,000		
	播州釣針地場産業展出席事業	旅 費	317,000	316,320	委員旅費	
		賃借料	56,000	56,000	工芸展出席料	
		支払手数料	1,000	220	振込手数料	
合 計		374,000	372,540			
播州釣針普及事業	旅 費	110,000	109,160	委員旅費		
	原材料費	253,000	253,000	放流費、餌代		
	支払手数料	1,000	550	振込手数料		
	合 計	364,000	362,710			
地場産業の経営者、技術者等の研修事業	人材育成事業	会 議 費	6,000	5,500	セミナー打合せ賄費	
		繰入金支出	371,000	367,269	特別会計へ	
		合 計	377,000	372,769		
その他の事業	(他1) 地場産業振興のための情報の収集提供に関する事業	播州織情報収集事業	通信運搬費	83,000	78,340	電話回線使用料、郵送料
			消耗品費	116,000	114,764	専門紙、資料作成費
			外注費	66,000	66,000	ドメイン・サーバー維持管理費
			役務費	264,000	264,000	調査資料費
			支払手数料	2,000	1,540	振込手数料
			合 計	531,000	524,644	
合 計			19,180,000	19,147,630		

特別会計説明

1 播州織ブランド新商品試作開発事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業 国内展開)

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	2,013,406	県補助金 1,000,000 自己資金 1,013,406
合 計	2,013,406	

支出の部

(単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
研究開発事業費	試織費	1,960,000	試織費
	サンプル作成費	31,350	サンプル作成費
	小 計	1,991,350	
庁費	会議費	1,314	委員会賄費
	通信運搬費	3,836	郵送料
	消耗品費	4,416	事務用品費
	賃借料	8,750	会議室使用料
	支払手数料	3,740	振込手数料
	小 計	22,056	
合 計		2,013,406	

2 播州織総合素材展事業

(県：地場産業活性化支援事業)

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	5,145,673	県補助金 1,000,000 自己資金 4,145,673
合 計	5,145,673	

支出の部

(単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
旅費	旅費	547,300	職員・委員旅費
庁費	会議費	4,925	委員会賄費
	通信運搬費	85,256	郵送料、出展品配送料他
	出展料	1,732,500	JFW-JC出展料
	会場整備費	1,294,755	会場設営費他
	印刷製本費	175,092	出展者リスト印刷費、会議資料コピー代等
	消耗品費	43,315	事務用品費
	賃借料	22,500	会議室他使用料
	広告宣伝費	1,236,400	ホームページ更新費、新聞広告費他
	支払手数料	3,630	振込手数料
		小 計	4,598,373
合 計		5,145,673	

3 播州織ブランド普及振興事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業 国内展開)

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	4,128,456	県補助金 3,000,000 自己資金 1,128,456
合 計	4,128,456	

支出の部

(単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
研究開発事業費	外注費	975,000	製品製作費
庁費	通信運搬費	19,431	郵送料
	消耗品費	4,940	事務用品費
	印刷製本費	66,000	チラシ等印刷費
	賃借料	122,875	撮影会場・会議室等使用料
	会場整備費	2,939,000	撮影・映像製作(企画・モデル・音楽・照明等)
	支払手数料	1,210	振込手数料
	小 計	3,153,456	
合 計	4,128,456		

4 播州織ブランド普及振興事業

(県：地場産業活性化支援事業)

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	227,920	県補助金 113,000 自己資金 114,920
合 計	227,920	

支出の部

(単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
庁費	広告宣伝費	226,860	新聞折込、地域情報誌記事掲載料
	印刷製本費	400	資料コピー代
	支払手数料	660	振込手数料
合 計	227,920		

5 播州織ブランド普及振興事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業 海外展開)

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	660,440	県補助金 600,000 自己資金 60,440
合 計	660,440	

支出の部

(単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
庁費	委託費	660,000	播州織PR動画制作委託費
	支払手数料	440	振込手数料
合 計	660,440		

6 播州織ブランド普及振興事業

(県：地場産業持続・活性化支援事業)

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	4,299,822	県補助金 3,900,000 自己資金 399,822
合 計	4,299,822	

支出の部

(単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
庁費	委託費	4,290,000	Webサイト制作 (デザイン・システム他全般) 委託費
	通信運搬費	2,268	郵送料
	印刷製本費	7,004	会議資料コピー代等
	支払手数料	550	振込手数料
合 計	4,299,822		

7 人材育成事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業 人材育成)

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	367,269	県補助金 325,931 自己資金 41,338
合 計	367,269	

支出の部

(単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
謝金	講師謝金	347,000	研修会・講演会講師料
旅費	講師旅費	4,740	講師旅費
庁費	会議費	5,225	会議賄費
	通信運搬費	3,024	郵送料
	消耗品費	2,420	事務用品費
	印刷製本費	3,760	講演会資料コピー代
	支払手数料	1,100	振込手数料
	小 計	15,529	
合 計		367,269	